広報あいかわ
毎月2回10日・25日発行
発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
編集人
合川町広報係
（合川町教育委員会事務局内）
TEL李岱38番
（発行部数 2,350）

輝く二つの表彰

本町ではこのほど次の事務優秀の故をもつてそれぞれ表彰された。

その一

昨年十月一日実施の国勢調査の事務成績優秀により内閣総理大臣より表彰状が贈られた。

その二

自衛隊発足以来、自衛官の募集事務成績優秀につき、自衛隊秋田駐屯地部隊長より感謝状と記念品が贈られた。

投書に関するお願い

……職業安定所から…

最近、当安定所に対し合川町の方から失業保険金不正受給に関する投書が頻々として参つておりますが、その内容は「今夏、七座営林署の就労者中より多数の不正受給者が摘発されたがまだ相当未摘発のものがいるから至急調査されたい」という意味のものであり、正しい失業保険制度の運営に対する協調心の現われとして誠に感謝に堪えないところであります。

しかし、当所においては次のような理由によつて調査致しかねております。

すなわち

1、七座営林署については昨年一月～六月までの賃金簿の照合による「摘発調査」を全面的に実施済であるので、同様な方法による再調査にはあまり効果が期待出来ないこと

2、前述の投書によると、「すでに摘発された者以外にも失業保険金受給期間中に就労したものが相当数にのぼつている」と告げているが、受給期間中の就労が直ちに不正受給となるものではないこと。

の二点であります。

当所において実施した同営林署の調査結果をみますと、受給期間中に於ける就労者は六十二名（賃金簿による確認数）で、この中不正受給者は三十五名を数え、これらの者は就労事実を当所に対して正直に申告していなかつたということになるわけであります。結局投書者は「就労即不正」と誤解していられるのではないかと考えられるのであります。

そこで当安定所といたしましては、前回の調査方法以上に有力な証拠物件あるいは証言が得られる見とおしがある場合には、いつでも再調査することになつており決して知らぬふりをしているのではないことを御了解願いたいと思います。

なお、当所にしばしば配達される投書には全然無記名のもの又は偽名を使つてなされるものが多く、これでは調査が出来ても責任ある回答すら出せないようなことになりますので、当所といたしましては決して投書なされた方に御迷惑をおかけすることはありませんから、今後情報等を御提供下さる方は必らず住所、御氏名を明記の上御協力下さいます様、貴重な紙上をお借りしてお願い申し上げる次第であります。

（大館公共職業安定所長）

ある徴税係の手記

「いい顔はされなくとも欲しい納税への理解」

税金というと、どうもよい顔をされないのが通り相場のこの頃、その中でも時には鬼のように、また血も涙もないもののように見られるのがわれわれ徴税係ではなかろううか……。

自由民権が謳歌されればされるほど、納税思想が昂揚されそうなものだが、どうもそれが逆コースをたどつているような傾向もある。

昔は納税は国民の三大義務の一つだといわれ、何はさておいても税金とされていたが、今は「税金などは取りに来るまで放つて置けばよい……」という人も見えるようだ。

一日何十軒も足を棒にして歩いても集つて「もともと」集らなければ「税金は役場の窓口で納めてくれたら……」というグチも出てくる。

滞納者がいるばかりに、それ催告状だ、督促状だ、差押えだ、何だかんだで、それに要する滞納整理費だつて馬鹿にならない額だ。まつたく税金が税金を食うとはこのことかも知れないほどおしい費用である。

町内に立派な橋がかかり道路が通じ、学校が建ち、都市計画が進められてゆくのも、みんな町民からの税金なのである。「滞納整理費」などという予算が一銭もいらなくなるのがわれわれ徴税係の念願である。

「私」を捨てて、みんなのために、町のために住みよい合川町にしたいという一念で一軒一軒を廻るわれわれも、時には態よく玄関払いを喰つたり、ドナリつけられることもある。

こんなときの淋しさ……「何もわれわれはあんたの家へ掛売の集金に来たんじやないんだ……」という言葉がのどまで出てくる。しかし、中には「ご苦労さん…」の一言もかけられ、家庭事情を細々とのべながらもお金を差し出されたときは全く頭の下がる思いをすることもある。

滞納の理由の多くは

◎少しぐらいだからいつでも納めとられるいつているうちについ忘れる。

◎課税が不公平だ。

◎役場のやり方は不平不満がある。

◎どうしても納められない等々であるようだが、理由のある場合はいつでも遠慮なく役場まで出向いてさえくれればと思う。

そんなことをいつて放つておいたばかりに、最後の強制処分などというお互にいやな思いをしなければならぬ事態になつたりすることが毎年多数出てくるのではあるまいか。

徴税係――われわれも人間であり町民であることに変りはない。常に愛される公僕としての気は配つているつもりでも、時には「売り言葉に買い言葉」も交されることになる……。

しかし、こんなときのあと味は決してよいものではない……。

われわれの仕事は「正直者が馬鹿を見る」ということのないように努力することで、それには常に町民各位の理解ある協力が必要とされているのだ…（XYZ）

新生活運動に御協力を!!

＝みなさん正月は新暦で実施致しましよう＝

合川町公民館

集会の常識 ②

会合を上手にやるには、出席する人の心構えも大事であるが、運営の仕方がもつと大事である。われわれの集りを明るい民主的なものにして、協同の効果をあげるようにつとめよう。

◇世話役と座長の心構え

（一）世話役は集会の場所日時、議題などをはつきり示して早めに通知を出すようにする。集会の大体の予定（日程表）時刻を書いておくのも親切なやり方。

（二）座長は出席者の総意によつて選ぶようにする。しかし、このために時間を空費するようであつたら、世話人は開会を宜した後「わたくしに指名させて頂きたい」とはかつてから適当な人を指名することもよい。

（三）座長は会の空気を和らげ、誰でも気がるに発言できるように仕向けるとともに、限られた人だけが発言しないように注意しなければならない。

（四）いくつもの対立的な意見が出て混乱した場合、座長は主だつた意見の要旨をみんなに示し、その一つ一つについて賛成かどうかを聞くようにしたいものである。

（五）座長はまだ意見が出つくさないときには採決を急いではいけないまた少数の意見であつても座長がそれを取上げてみんなにはかるような親切がほしいものである。

（六）みんなが退屈してきたり会場が乱れてきたときは、皆で出来る一寸した体操や遊び（いわゆるレクリエーション）などをやつて気分の転換をはかるのも一つの方法。

（七）座長は通知した閉会時刻に会を終るようにうまく会議の進行を計らなければならない。そして最後にその日にきまつたことのいくつかを改めて報告し、みんなに徹底させること

（八）出来れば記録係をおき、会の順序、出席者の氏名または人数、主なる意見など簡単な記録をとり後日の参考にするとよい。

……

北出張所の電話番号変る

本町北出張所（旧下大野村役場）は今まで電話は下大野局九番でしたが、十日から下大野局二十三番の乙に番号が変更になりましたのでお知らせいたします。

なお、従来の九番は下大野郵便局長宅に新設の電話番号になりました。

（北出張所）

上杉駐在所に公衆電話

米内沢警察署ではこのほど本町上杉巡査駐在所に公衆電話（上大野三十九番）を新設した。

県民の質問に知事が回答

ラジオ県民室

県では、県の広報活動の一環として、ラジオ東北の番組の中に「ラジオ県民室」を設け毎月一回ラジオ東北県庁だよりの時間に放送している。このラジオ県民室は県民から県政のあらゆる部門についての質問を募りこの質問に対して知事がラジオで回答するもので、質問があつたら、ラジオ東北放送部または県庁知事室広報係へ葉書で申込まれるよう希望している。

なお、採用の質問には薄謝が贈られることになつている。

鷹農同窓会支部総会　鷹巣農林高校同窓会合川支部（支部長斎藤憲一郎氏）では去る九日午後一時から駅前平川旅館において会員約五十名が参加して本年度通常総会を開いた。

至言

◎書物は若い人のためには案内者となり、年をとつた人のためにはなぐさめ相手となる（ジェレシー・マリエル）

◎書物は人生の危険な大海を航海するとき役立つよう先輩が用意してくれたコンパスであり、望遠鏡であり、海図である。（ベネット）

たばこは町内でお買い下さい!!

お買求めになつたタバコ代の九%が町へ税金として入ります。例えば

いこい　一個で　四円五十錢
光　一個で　二円七十錢
新生　一個で　三円六十錢

チリも積れば山となる……。馬鹿にならないのが「煙草消費税」です。

十月の煙草消費税は

一〇五、七三〇円でした。

やがては道路をなおし、学校を建てる資金になるのです。

◇今月の税金は◇

◎固定資産税　第四期分
◎　第　期分
◎　第　期分

◇納期まで必ず納めましよう。

町辞令

木村　恒三
金田　一蔵
関　喜兵衛
工藤文之助
金田悦財門
伊藤与十郎
杉淵武一郎
畠山宇三郎

合川町役場庁舎建築委員会委員を委嘱する（各通）
畠山宇三郎

合川北中学校屋内運動場建築委員会委員の職を解く
高橋仁一郎

合川北中学校屋内運動場建築委員会委員を委嘱する（十一月一日付）
庄司　博
高橋　欣二
佐藤　秀蔵
杉淵武一郎
森岡三五郎
成田　迪
金田　英知
斎藤憲一郎
佐藤　陽三
高橋　アグ
森岡昌千代
斎藤　修助

合川町町章審議委員会委員を委嘱する（各通）（十一月十五日付）
関　喜兵衛
佐藤伊衛門
畠山宇三郎
安部松五郎
藤岡　規一
三浦　富司

直線道路建設委員会委員を委嘱する（各通）（十一月一日付）
用務員　成田　初男（東中学校）

願いにより本職を免ずる（十一月三十日付）

【記事訂正】第二十一号、「畜舎の手入れは今のうちに」の記事の末尾に「骨軟症、クル病などの病気が出来るものである」とありますが

これは「骨軟症、クル病などの病気の予防が出来るものである」が本当です。

豆弁士たち熱弁をふるう

始めての試みとしてはまず成功

町内中学弁論大会

町教育委員会では、去る十一月二十六日西中学校で「第一回町内中学校弁論大会」を開催した。

この日は荒天であったが町内各校を代表する十二名の男女豆弁士をはじめ、各校生徒ら多数が参加して熱弁をふるったが、ときどき聴衆である生徒の中から弥次がとんだりして、町内としては始めての催しにもかゝわらず盛況を極めた。

教育委員会としては、最初のことでもあり、今回の弁論には等級をつけず、全員に参加賞を贈ったが、来年度からは等級をつける本格的な弁論大会にしたい方針であると語っている。

なお、同会終了後、西中学校の萩野教諭から次のような講評がなされた。

◇講　評

総体的にみて特に感ずることは、内容が難しくてよく相手を納得させ得なかったということである。

しかし、最初の試みであるのにもかゝわらず、各校とも優れており、他町村に比して少しも劣っていない。また、女生徒の弁士が比較的に多かったことは嬉しいことである。また次の点に今少しの注意を払ったらもつとよくなると思う。

①論旨が飛躍し過ぎてまとまりがなくなることのないようにすること。

②日常の生活の領域からテーマを取材すること。

③題と内容とをよく考え合せること。

④引用文はつとめて平易にして……の意味を述べている……という程度にとどめること。

⑤一般に声量はあるが、論ずるべき趣旨のヤマがそれについていないことが感じられるから気をつけること。

各地區で裁縫学級開講

公民館では、ことしも十二月から明年四月中旬まで裁縫青年学級を開設すべくその準備を進めていたが、次のように各地区に開講することになったので希望者の受講を望んでいる。

▽東地区
十二月十五日から東出張所階上で（和裁及び洋裁の二学級編成）

▽西地区
十二月十五日から李岱、羽根山、福田の三部落において

▽南地区
十二月六日から南支所階上において

▽北地区
十二月九日から北出張所階上において

新春の夢をつのる

―新年号広報に掲載―

お正月も間近にせまりました。御意見や御感想をお寄せしたので、係では広報新年号に次のような欄を設け、みんな一緒に新しい気持で、昭和三十二年の正月を迎えたいと存じますので、奮つて御投稿下さるようお願いいたします。

〝明るい合川〟

こうしたなら、私たちの町はあかるく住みよい町になるという御意見や、お互い同志の反省など。

〝うるわし記〟

まねたい、あやかりたい

〝拾つた話〟

身近かな特種ニュース。

〝捨つた話〟

他の地区にはないような自慢や催し物など……。これは原稿でなく電話でも結構です。

なお、新年号は一月十日発行の予定でありますから原稿は十二月二十五日必着のこと。

また原稿には必らず住所氏名を明記して下さい。（御希望による紙上の匿名は自由です）

但し、原稿は編集の都合で加筆またはカットする場合もありますから御了承願います。

広報編集に関する御意見も歓迎いたします。

【広報係】

両地区で料理講習会

東地区及び西地区の婦人学級ではこのほど炊事科学研究所（新潟県）より松田克彦氏を講師に迎えて「たまご料理講習会」を開いたが、同講師は全国各地において生活改善を説くかたわら、料理の講習を開催してきている権威者で当日は卵を使用した栄養料理十数種について実際に手ほどきを行つた。

年末の郵便物は早目に

―遅くなると間に合わなくなる―

例年年末になると年賀状や贈答用の小包などで、郵便局は大混雑の時期であるが、係ではこの十五日からはじまる「年賀郵便特別取扱」のことや、利用者に対する郵便局側の希望などについて、町内の李岱、下大野の一部からで、局としてはこれらのものは遅れることのないよう万全の準備はしていますが利用される方々のためには特に次のことがらについて協力を願いたいと思います。

◇郵便局の話

「年末になると毎年のような混雑を呈します。これは年賀状やお歳暮用の小包などがドット殺到するので家にあがり、横になつてさつきの物語を読んだが、字だまだ未熟であると思う。

僕が積極的に水くみをやるようになつたその時こそ、「何の苦もなく、くめるようになつた」と言えて、それこそほんとうの楽しい生き生きとした自分の生活があるのではないかと思つている。

中学生の詩と作文

水くみ

北中二B　畠山　満男

僕は学校から帰ると、いつも水くみをさせられる。今ではなんの苦もなく五十メートルほどはなれた井戸に行つて、桶に水をいつぱい入れてくんでくる。

僕が初めて水をくめるようになつたのは　たしか五年生の夏だつたと思う。風呂をたくために兄さんと二人でくんだのだつた。そのころは、何しろ初めての水くみだつたから、桶に半分ぐらい入れてようやく歩けるくらいだつた。十メートルくらいの坂を、一歩一歩ふみしめて登り、坂を登りきつた所で一休みし、それからまた桶をかついで家に来たものだつた。それだかかめにいつぱいくめばいいのだが、いつも叱られていつぱいで疲れてくむことができなかつたこともあるが、三年後の今では、水をくむぐらいはなんでもなくなつてしまつた。ところが、僕はそのなんでもないことを自分から進んでやる気になれないのである。

自分の気持が落ちついていないからだ。何度も言われてからでなければくみに行かない。くみに行つても一回か二回でやめておく。家の水かめは大きくて、四回くまなければいつぱいにならない。それを僕は二回くらいでやめておくから、水をくむときは、いつでも叱られてばかりいる。叱られないようにするには、水くみがもつと楽しくなるようにしなければいけないと思う。

教室

北中一年　片岡　利雄

忘れ物を取りに行つた。
ぼくは
静かな学校の中を
たつたひとりで
階段をトントンならして
あがつていつた。
忘れ物は、ハーモニカだ
教室にはいると
とても静かだつた。
ぼくは
自分の机にさわつてみた
先生の
机にもさわつてみた。
先生の机もぼくの机も、
とても冷たかつた。
そうしてぼくは
静かな教室の中で、
ハーモニカを吹いた。
「荒城の月」だ。
ぼくは
目をつぶつてならした。
吹きおわると、
また静かな教室になつた
いつも
静かな教室にいたかつた

かき

北中一年　藤田　昭男

まつかにてりはえた
かきのみが
しずかに
しずかに
ゆれていた。

広報の話題

▼静岡県山梨町では、〝新農村建設はまず広報から〟というわけで、町所有のオート三輪車に拡声装置をとりつけ広報車に活用することになつたが、その効果は大きく期待されている。（広報やまなしより）

▼北海道上砂川町では、役場庁舎の新築にともない旧庁舎を公民館として活用することになり、その計画を検討した結果二階は会議室一階はホール、和室などに使用することを決めた。（上砂川町広報より）

×

係より
係では現在全国の各市町村広報係と広報の交換を行つていますが、本号から各市町村広報の話題を紹介することにいたしました。

▼群馬県蓮田町で、さきに実施した町政についての調査によると、町村合併によつてよくなつたと答えたのが五二%、悪くなつた点は税金が高くなつたというのが三八%もあつた。（蓮田町広報より）

×

これは今年の輸送事情などとも考え合せて出来るだけ早く出していただかないと、年内配達に間に合わなくなることもあります。また、年賀状の特別取扱期間は十五日からが五二%、悪くなつた点は二十八日までですが、県外などの遠方へ行くものはなるべく早目に、おそくとも二十日頃までに出していただきたいと思います。最近小、中学校の子供たちの年賀状交換が盛んになりましたが、これらには必らず何々方とかた書を書いてもらいたいものです。また鉛筆がきなども出来るだけさけたいものだと思います」

あとがき

▽冬将軍が猛威をふるうこの頃、みなさんお変りありませんか？

▽ある町民の方から消防団の浪曲大会について辛辣なる御意見が寄せられましたが、本号の締切りまでに回答がいたしかねましたので止むなく割愛いたしました。御了承ねがいます。

▽合川町の全住民が、より深く理解し合う場が広報です。私たちの郷土、合川町を少しでも住みよくそして明るくするための町づくりの願いと誇りがいつも紙面一ぱいにみなぎる広報にしたいものです。

▽その意味で、新年号は別項のように大巾に紙上を解放し広くみなさんの御意見を募集することになりましたので、どしどし御意見をお寄せ願いたいものです。

一二、一〇　—S—

【衛　生】

冬の健康2題

寒くなると、とかく洗濯をするのもおつくうになる人間の皮膚にも行われているものです。しかし人間の皮膚にも行われているものです。しかし人間の皮膚にも行われているものです。しかし